

せいじつ じんたい
誠実さと忍耐で
いんしき せいぎ
歴史的偉業を成しとげた

エイブラハム・リンカン

(1809年~1865年)

窓も扉もないような丸太小屋で生まれたリンカンが「奴隷解放」を成しとげるまでに、30年以上かかったんだ。家が貧しく、小学校に4カ月行っただけだったリンカンは、独学で郵便屋、測量士、弁護士などの仕事を習得。誠実な仕事を積み重ねた。奴隷解放には多くの人が反対していたけど、敵対する人にも誠実な態度をつらぬき、次々と仲間に変えることができたんだ。

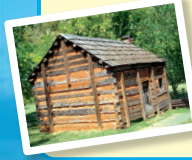


力を尽くすことだよ

長い時間を耐えて
大きな仕事を
成したんだね

自助努力ポイント

- ◆ 誠実な姿勢をつらぬき、人々の信頼を得た。
- ◆ 偉業を成しとげるまで、長い時間忍耐した。



「奴隷解放の父」としてアメリカで最も尊敬されている大統領。9才ごろまで、写真のような家で過ごしていた。

7人の偉人を紹介するぞ



自助努力 偉人列伝



好きな偉人を見つけてね☆

偉人たちの多くは、最初から恵まれていたり天才だったりしたわけではなく、自助努力によって立派な人になったんだよ。その人生から学ぼう！



さくひん さいぶ
作品の細部を
おろそかにしなかった

ミケランジェロ・ブオナローティ

(1475年~1564年)



細部へのこだわりが「美」を生むのです

ミケランジェロは「ダビデ」などの歴史的な彫刻を若くして作り、20代ですでに有名になっていったんだ。でも、どんなにほめられても作品づくりに手をめくことはなく、「細部への徹底したこだわりが、美しさをつくる」と信じていた。また、一度制作を始めると、食事も忘れてしまうほど没頭。夜中も帽子にロウソクを立てて彫刻を掘り続けるくらい、ねばり強かったんだ。こだわりぬかれた作品は、400年以上経った今も人々に感動を与えているよ。

ルネサンス期のイタリアの芸術家。彫刻、絵画、建築と幅広く活躍し、後世の芸術家に大きな影響を与えた。



自助努力ポイント

- ◆ 有名になった後も、細部に手をめくかなかった。
- ◆ ねばり強い集中力で仕事に取り組んだ。

じっけん けんきゅう
実験と研究をしながら
まんざつ ほん
1万冊の本を読んだ

トーマス・エジソン

(1847年~1931年)



ねばり強く努力することが大切なんだ

発明王・エジソンが数カ月しか小学校に行かなかった話は有名だね。では彼がどうやって知識を身につけたかという、実はたくさん本を読んでいったんだ。少年時代には、図書館の本をほとんど読破してしまったし、大人になってからも、毎日3冊の本を読んでいたそうだよ。その数は、なんと1万冊以上にのぼるんだって。1300を超える発明の裏に、こんな努力もあったんだね。



アメリカの発明家。「白熱電球」や「蓄音機」(左写真)、「アルカリ蓄電池」など、1300を超える発明で、人々の生活を豊かにした。

自助努力ポイント

- ◆ 自分から勉強する姿勢を持っていた。
- ◆ 読書の習慣を一生にわたって続けた。

読書家だったなんてビックリだよ！